

令和5年第3回臨時会

飯 島 町 議 会 会 議 録

令和5年7月5日 開会

令和5年7月5日 閉会

飯 島 町 議 会

令和5年第3回飯島町議会臨時会議事日程

令和5年7月5日午後1時30分 開会・開議

1 開会（開議）宣告

1 議事日程の報告

1 町長議会招集挨拶

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定について

日程第3 諸般の報告

日程第4 第1号議案 令和5年度飯島町一般会計補正予算（第4号）

1 町長挨拶

1 閉会宣言

○出席議員（12名）

1番	伊藤 秀明	2番	坂井 活広
3番	折山 誠	4番	坂本 紀子
5番	宮脇 寛行	6番	浜田 稔
7番	三浦寿美子	8番	堀内 学
9番	星野 晃伸	10番	片桐 剛
11番	吉川 順平	12番	久保島 巖

○欠席議員（0名）

○説明のため出席した者

出席を求めた者	委任者																		
<p>飯島町長 下平 洋一</p>	<table border="0"> <tr> <td>副 町 長</td> <td>宮下 寛</td> </tr> <tr> <td>総 務 課 長</td> <td>大島 朋子</td> </tr> <tr> <td>企画政策課長</td> <td>座光寺満輝</td> </tr> <tr> <td>住民税務課長</td> <td>松村 和夫</td> </tr> <tr> <td>健康福祉課長</td> <td>藤木真由美</td> </tr> <tr> <td>産業振興課長</td> <td>堀越 康寛</td> </tr> <tr> <td>建設水道課長</td> <td>片桐 雅之</td> </tr> <tr> <td>地域創造課長</td> <td>久保田浩克</td> </tr> <tr> <td>会計管理者</td> <td>松澤 京子</td> </tr> </table>	副 町 長	宮下 寛	総 務 課 長	大島 朋子	企画政策課長	座光寺満輝	住民税務課長	松村 和夫	健康福祉課長	藤木真由美	産業振興課長	堀越 康寛	建設水道課長	片桐 雅之	地域創造課長	久保田浩克	会計管理者	松澤 京子
副 町 長	宮下 寛																		
総 務 課 長	大島 朋子																		
企画政策課長	座光寺満輝																		
住民税務課長	松村 和夫																		
健康福祉課長	藤木真由美																		
産業振興課長	堀越 康寛																		
建設水道課長	片桐 雅之																		
地域創造課長	久保田浩克																		
会計管理者	松澤 京子																		
<p>飯島町教育委員会 教育長 片桐 健</p>	<p>教 育 次 長 齊藤 鈴彦</p>																		

○本会議に職務のため出席した者

議会事務局長	林 潤
議会事務局書記	松下 知冬

本会議開会

開 会	令和5年7月5日 午後1時30分
事務局長 議 長	御起立をお願いいたします。(一同起立) 礼。(一同礼) 御着席ください。(一同着席) ただいまから令和5年第3回飯島町議会臨時会を開会いたします。 議員各位におかれましては、慎重な御審議をいただくとともに、円滑な議事運営に御協力をいただきますようお願いいたします。 これから本日の会議を開きます。 本日の議事日程についてはお手元に配付のとおりです。 開会に当たり町長に御挨拶をいただきます。 〔下平町長登壇〕
町 長	こんにちは。 議会臨時会招集に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。 令和5年6月28日付、飯島町告示第50号をもって令和5年第3回飯島町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には、時節柄、御多忙中にもかかわらず全員の皆様の御出席を賜り、厚く御礼を申し上げます。 本格的な梅雨の時期を迎え、湿度が高く、すっきりしない日々をお過ごしのことと思います。 先週末以来、全国各地で継続的に激しい雨に見舞われ、大きな災害の出たところもございました。被災された地域の皆様方に対しまして心からのお見舞いを申し上げます。 飯島町での先週末の総雨量は、多いところで101ミリを観測しました。土砂災害などの大きな被害はなかったものの、雨の影響により川の水が濁り、浄水場の取水に支障が出て、町内で断水が発生いたしました。 復旧作業の対応を進めながら、給水につきましては、災害時相互応援協定に基づき飯田市と松川町へ派遣を依頼し、給水車の配備をしていただきました。緊急時に近隣市町村に援助いただくことは大変ありがたいことと、改めて感じたところでございます。 断水の該当地域の皆様には多大な御迷惑をおかけいたしました。 また、町民の皆様には節水等の御協力をいただき、ありがとうございました。 町としましては、今回の事例を教訓として、今後も大雨等への備え、その対応等をしっかりできるよう努めてまいります。 さて、ウクライナ戦争や円安等によるエネルギーや食料の輸入価格の値上がりに端を発しました物価高騰は、住民生活への影響を日に日に拡大しております。 新型コロナウイルスが感染症法上の5類に分類されて以降、少しずつ地域の事業や集会など人の動きが出てきてはいるものの、快適な暮らしや活発な経済をコロナ前の状況に戻すには至っていません。

加えて、今や物価高騰は、地域全体に、また暮らしの家計全般にわたり大きな負担をかけている状況でございます。

このような状態を受け、今回、第6弾となるくらし復興券の発行を計画いたしました。今回は、町民の皆様の家計全般を支援することを主目的に、復興券を直接交付してまいります。

また、復興券を活用する中で、町内企業での消費を促進し、地元へお金が落ちることによって地域経済の復興にもつながることを期待しております。

いずれにしても、夏休みやお盆を迎える今、スピーディーな対応が最も重要であると思うところでございます。

本臨時会に提案申し上げます案件は、ただいま申し上げましたくらし復興券を含む喫緊の事業実施に伴う補正予算案1件でございます。

何とぞ、慎重な御審議の上、適切なる決定を賜りますようお願い申し上げます、議会臨時会招集の挨拶といたします。

ありがとうございました。

〔下平町長降壇〕

議長 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第122条の規定により3番 折山誠議員、4番 坂本紀子議員を指名いたします。

議長 日程第2 会期の決定についてを議題といたします。

本臨時会の会期につきましては、過日、議会運営委員会において協議いただいております、議会運営委員長より会期は本日1日限りとすることが適当との協議結果の報告がありました。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は議会運営委員長からの報告のとおりとしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長 異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日限りとすることに決定いたしました。

議長 日程第3 諸般の報告を行います。

議長から申し上げます。

最初に、令和5年6月定例会において議決された意見書の処理について報告いたします。

子どもたちが均等に学べる環境を整備することを求める意見書、「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書、以上2件の意見書につきましては、6月15日に衆議院議長をはじめ関係機関に送付いたしましたので、御報告いたします。

次に例月出納検査の結果について報告いたします。

6月における例月出納検査の結果、特に指摘事項はありません。
次に、本会議に説明員として出席を求めた方は別紙のとおりであります。
以上で諸般の報告を終わります。

議 長 日程第4 第1号議案 令和5年度飯島町一般会計補正予算（第4号）
を議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

〔下平町長登壇〕

町 長 第1号議案 令和5年度飯島町一般会計補正予算（第4号）について提案理由の説明を
申し上げます。

今回の補正は、家計全般にわたる物価高騰に対する緊急支援事業や定住施策関連補助金の
要望増など、緊急に対応が必要な案件に関わる補正となります。

補正予算の規模につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,970万9,000
円を追加し、歳入歳出それぞれ56億8,229万4,000円とするものであります。

主な歳入の内容としましては、国庫支出金では新型コロナウイルス感染症対策対応地方
創生臨時交付金がおよそ4,400万円、消防団員安全装備品整備事業助成金がおよそ50万円、
農業施設災害復旧事業に関わる地元負担金がおよそ16万円のほか、歳出に関わる財源不足
に対応するため財政調整基金から1,500万円を繰り入れる歳入予算を計上いたしました。

主な歳出の内容としましては、家計全般にわたる物価高騰に対する生活支援のためくらし
復興券発行事業におよそ4,900万円、定住施策関連のマイホーム取得補助金と住宅リ
フォーム補助金に1,200万円、6月上旬の農業施設や林業施設の災害復旧工事に合わせて
およそ230万円、消防団活動服等の購入におよそ50万円を計上いたしました。

そのほか、緊急性のある当面の事業執行に必要な補正を計上したところでございます。

その他、細部につきましては担当課長からそれぞれ説明申し上げますので、よろしく御
審議の上、御議決賜りますようお願いいたします。

〔下平町長降壇〕

企画政策課長 補足説明

総務課長 補足説明

健康福祉課長 補足説明

産業振興課長 補足説明

地域創造課長 補足説明

議 長 提案理由の説明がありました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

4番

坂本議員 では質問いたします。

9ページの2124なんですけれども、国庫支出金が4,404万円で、実際にくらし復興券と
して補助金として使う部分が4,500万円ということなんですけれども、その足りない部分

は一般財源から幾らか入るような形になると思うわけですがけれども、全額、4,500万円が国庫支出金とはなぜならないのでしょうか。

企画政策課長 臨時交付金の関係ですけれども、これは内示をいただいている額の上限となっておりますので、この額で補正をさせていただいているところでございます。

議長 ほかにはございますか。

6番

浜田議員 同じく9ページの2114に「電力・ガス・食料品等」というふうに書いてありますけれども、この中で復興券で支払い可能なものは全てなんのでしょうか、それとも復興券では支払いできない項目がこの中に含まれているのか、お尋ねしたいと思います。

健康福祉課長 今回発行する復興券なんですけれども、復興券の使用できる費用という部分につきましては、今までに行っております第5弾までの復興券と同じ範囲の使用範囲となっておりますので、町内で協力いただける店舗への支払いのみになってまいります。

〔副町長挙手「いいですか、先に」と呼ぶ〕

副町長 今、課長も申しましたとおり、町内での使用でございますので、生活費全般の支援ということになります。だから、電力、ガス、そういうのに回らない部分はあるというふうに考えておりますけれども、生活費を応援するというところでございますので、家計の中でそれを使えば、その使わなかった部分はそっちへ回っていくというふうに解釈しております。

6番

浜田議員 直接お答えをいただいていると思うんです。

電力には使えますか、ガスには使えますかと、そういう質問です。

副町長 使えないと思います。

議長 ほかにはございますか。

4番

坂本議員 同じ項目でもう一つ質問いたします。

くらし復興券の中の委託料の中なんですけれども、これは商工会でということだったんですけれども、これは商品券のようなものなので、5、15、20とかいう形での5日間おきの換金ということで、それで、支払われた御利用者の方たちからは、やはり券が来てすぐに換金してほしいという意見をいただいているんですけれども、なぜ町でこの業務を請け負うことをしなかったのでしょうか、そこら辺のところはどうなっているのでしょうか。

副町長 前は、第5弾までは、そういうことでやってまいりました。商工会と協力して町全体で盛り上げるというような格好でございましたので、そういうシステムを構築してやったということでございまして、御承認いただければ、またそのシステムを使えばスムーズに行くかなというふうに考えております。

その5日10日っていうことは、私は十分承知をしておりますけれども、毎日のように伝票は回ってきたというように記憶をしておりますので、早く支払ってほしいという要望があれば対応はできるかなというふうに思っております。

2番

坂井議員

すみません。同じく9ページ、2124のくらし復興券なんですけれども、先ほどの委託料に関しまして、これは254万円余り計上されていますけど、これが例えば現金支給だとういった支出はなくなるのかどうかというのが1点と、もう一つは、8ページの1171定住促進事業の補助金、飯島町に光をそそぐマイホーム取得に関してなんですけど、これは、資料を見るとマイホーム取得に関しては町内業者4件、町外業者9件で、町内業者3割に対して町外業者7割なんですけれども、町内業者があまり選ばれていないっていうのはどういったところに原因があるかっていうのはお分かりになりますでしょうか。

副町長

委託料の関係だというふうに思います。

現金支給になれば、確かに現金を配ってしまいますのでこういうものはないというふうに思っております。

ただ、この仕組みでまいりますと、現金ですと令和2年に10万円の給付をやったようなことをまたやらなきゃいけないんじゃないかというふうに考えておりますが、そうすると、今我々の考えておるシステムより時間はかかるし、確認作業のほうがかかってくるというふうに考えております。

地域創造課長

マイホーム取得補助金の関係です。

町内業者、町外業者の関係ですが、一番の大きな要因は、要するにお施主さんの発注でするので、やっぱり住宅メーカーがいいとかいうことがまず第一点にはあろうかと思えます。大きな財産の取得になりますので、気に入った家を建てたいといったときに、やっぱりそういう大手メーカーっていうのがあるのかなあというふうに思っております。

それと、町内の業者さん、これは4件ということですが、見ていますと、しっかりPRしながら広告も出して、取得、リフォームをPRしながら営業をやっていただいているところもございますので、そういったところはやっぱりお客さんがいると思っておりますので、全体的に見れば、そのような理由が2つほどあるのかなあというふうに思っております。

2番

坂井議員

すみません。現金支給だと委託料はなくなるけれども、結局、より時間がかかってしまうのではないかということなんですけど、これは、マイナンバーと銀行口座の今ひもづけをやっていると思うんですけど、それで銀行口座に送るとか、そういったことが将来的にはできるんでしょうか。

副町長

将来的には可能かなというふうに思います。

ただ、今のところは全部が全部そういうふうになっていないというふうに理解をしております、全部ができるわけではございません。

それで、そのところを勘案しますと、先ほど申し上げましたように、令和2年に10万円を給付したように、申請をいただいて確認をすとか、そういう作業を確実にやらなといけないというふうに思います。

それで、届けるにはその部分が必要になってくるだろうなというふうに思っておりますし、場合によってはシステム改修もしなきゃならんだろうし、それから振込手数料も多分かかってくるというふうに考えておまして、それで、今はちょっとこれを考えていない

んで、そのくらい——思いつくところを今ちょっとぼっぼっぼと言ったんですけれども、多分このままの予算ではできないというふうに考えております。

議 長
8 番

ほかにございますか。

堀内議員

2点ほどお聞かせください。

まず、8ページの1171 定住促進事業の負担金の住宅リフォームのほうですけれども、今は35件交付していて、予定で5件ぐらいありますよということですが、リフォームのほうが多分期間的には早く事業が進んでいくのかなというところで、9月補正までこの600万円で大丈夫なのかどうかというところを改めて確認をさせていただきたいところが1点。

それで、もう一点ですが、9ページの2114の18ページ補助金のくらし復興券でございまして、今回は5,000円の発行をして生活支援にするということですが、5,000円にした根拠が何かあれば改めてお聞かせください。

地域創造課長

リフォーム補助金、今はぎりぎりのラインでやっておりますけれども、申請予定の5件っていうのが、これが今すぐ出てくるのか1か月後なのか2か月後なのかっていうところはちょっとまだ読めない部分もございまして、何とかこの600万円の補正をいただきまして行けるといふふうに考えておるところでございまして。

副 町 長

5,000円にした理由でございまして、臨時交付金が四千四百万円何がし来ております。

それで、うちの規模といたしましては大体5,000円が妥当——その補助金を使ってやるとこの辺が妥当だろうというふうに思っております。

それで、まだ4年度決算も打っておりませんので、繰越しがどのぐらい出るか分からないということもございまして、今回はプレミアをつけなくて5,000円で行こうというふうな判断をしておりますので、よろしく願いいたします。

議 長
9 番

ほかには……。

星野議員

復興券にするのと現金にするので効果っていうのを見込むときにはどちらのほうが一番適っているか、現金でも効果検証はできるのか、復興券でないとできないのかっていうのはいかがでしょうか。

副 町 長

現金になりますと、確かに臨時交付金の効果検証っていうのがあるので、そこら辺のところは、今、国とこういふふうにやりたいよという協議中なんです。ここで決定願えれば、そっちのほうに、そのほうにかじを切るということになるんですけれども、復興券でやるのが一番、今までのやり方として、枚数のあれが全部戻ってまいりますので、そこでどのくらい効果があったかが見えるっていうことで、後で——国はいいと言っても会計検査のこともございまして、令和2年から始まったコロナの関係の補助金でやると必ず会計検査が入るといふのが、今、全国でみんなその例が示されておりますので、我々としては、効果を実際に出すのは復興券を使ってやったほうが確実ではないかというふうに思っております。

議 長 ほかにございますか。

10 番

片桐議員 10 ページの 4921 非常備消防の話ですけれども、消防団の安全備品の整備というところかと思いますが、一番この項目で大きかったのが高視認の安全ベストという話でした。これはどんなシーンで活用するのか、またこれを選定した理由を教えてください。

総務課長 すみません。

高視認ベストということで、いろんな訓練の場ですとか、上伊那で集まったときとかもあると思うんですけれども、ちょっと皆さんが集まってみると、飯島町はまだ高視認ベストが整備されていないっていうところがまず1つでございます。

あとは、背中に「飯島町消防団」っていうように記載もしていきたいというふうに思っているんですが、反射材によりまして目立つ、どこにいても目立つかなというところと、あとは無線機などを入れるポケットとかもついておりますので、そういったものを身につけるっていうところも便利になるかなあというところで選定をしております。

4 番

坂本議員 関連でお尋ねしますが、このものを、安全ベスト、チェーンソーのほうは町にはない、足りないというか、ないので分かるんですが、安全ベストとしたところのそこに至る経過としては、消防団員のほうと一応備品を買うに当たり必要だという認識の中でこの商品にしたということでいいんでしょうか。

総務課長 幹部の皆さんとも共有をさせていただいたところでございます。

議 長 坂本議員に申し上げます。3回を超えますので御認識ください。

ほかにございますか。——よろしいですか。

[挙手者なし]

議 長 ほかには質疑がないようですので、ここで質疑を終わります。（「議長、動議」と呼ぶ者あり）

浜田議員から動議が出されました。

賛成される方はいらっしゃいますか。（「賛成」と呼ぶ者あり）（「議長」と呼ぶ者あり）

3 番

折山議員 何の動議だか分かりませんので……

議 長 動議に賛成というだけですので……（事務局長「動議の内容を確認してください」と呼ぶ）内容を確認。はい。（「内容が分からないと賛成か反対か判断できません」と呼ぶ者あり）はい。分かりました。

浜田さん、どうぞ。

6 番

浜田議員 本来その手順でいいんじゃないかと思うんですけど……。

動議の内容はまた改めて申し上げますけれども、先ほどの復興券、これを現金の直接支給にすべきという予算置組替え動議であります。

議 長 要するに補正予算（第4号）の修正ということでよろしいですか。

6番

浜田議員
議長

そうです。

この動議に賛成される方。（「賛成」と呼ぶ者あり）

賛成が1名以上いましたので、動議として成立いたしました。

日程を変更し、これより令和5年度飯島町一般会計補正予算（第4号）の修正提案の動議を議題として採決いたします。

この採決は起立によって行います。

この動議を決定することに賛成の方は御起立ください。

〔賛成者起立〕

議長

お座りください。（起立者着席）

確認いたします。

この動議を取り上げる、このことについて賛成の方の御起立を願います、再度。

〔賛成者起立〕

議長

3人です。

お座りください。（起立者着席）

起立少数です。したがって、令和5年度飯島町一般会計補正予算（第4号）の修正提案は否決されました。

引き続き討論を行います。

討論ございますか。

6番

浜田議員

単に動議を出しただけで中身の議論もさせていただけなかったのは大変残念であります。こういう議会運営でいいのかなっていうのはちょっといささか疑問なんで、また全協で討論させていただきたいと思えますけれども……。

この予算の中の2114—9ページの、このくらし復興券による事業の推進には反対するものであります。

なぜかといいますと、先ほど説明がありましたように、このくらし復興券は電気代やガス代の支払いには使えません。それで、その結果、電気代、ガス代の支払いをしようとする人たちは、ほかの商品を買うことで家計を浮かせて、それによって電気代、ガス代の支払いを行うと、こういうことにならざるを得ないわけであります。

ちょっと私ごとに関わりますけれども、実は、先週の金曜日、それから先々週の金曜日、地域の住民の方からかなり深刻な相談を受けました、全然別です。

それで、私はもう二百数十回生活支援をやっていますけれども、その関連の中で、現金が全くないという、それで、数日間、水だけで暮らしていると、こういうお話でした。こういう方々が現実にいらっしゃるわけです。

それで、ここの議場にいらっしゃる方はそこそこ経済的に余裕おありなのかもしれませんけれども、コロナの中で、言ってみれば経済の底が抜けたという現象が多く見受けられます。特に去年の夏からがひどいですね。

それで、しかも日にちが金曜日だったということで公的な支援もほとんど受けられない

と、こういうことに至りました。

それで、お一人の方は、それでも若干の食料を提供してくれる機関があったので、それで若干は何とかなったけれども、その方はやや物忘れがあるものですから、社協のほうで分割で生活保護費をお渡ししていたんですけれども、連休のおかげで1週間狂ってしまったということで、1週間分の金銭が全くなくなったという状況に至りました。

幸い、私のほうは赤い羽根の支援金でもって米ですとか、それから自分のところの畑を使ってやっているジャガイモ、タマネギ等がありましたので可能な限りの支援は差し上げましたけれども、そういうことが既に現実で起こっているということです。

2件目の先週末も似たようなものでした。やはり御家族の方の病気で足代が全くなくて、御家族が脳梗塞で倒れて入院するということがあったんですけれども、本当に1円もないというふうな状況でした。それはいろいろと手を尽くして何とかしましたけれども。

これが今の日本の福祉の一番底辺のところを生じている問題です。このことについて本当に配慮されたのか。

町の経済が大事だというふうにおっしゃいますけれども、だけど、実際に復興券で効果があったのは、今までのデータから明らかなように、小売業のトップ10社で半分ぐらい、ほかのところには実は経済復興の影響は及んでいないわけですね。そういうふうに偏りのある復興券を発行して、それでそのために事業として250万円を追加で支出すると、これほど不合理なやり方はないというふうに私は考えております。

したがって、この部分だけを修正する予定でしたけれども、私としてはこの補正案全体に反対であることを述べて、反対討論といたします。

議長
8番
堀内議員

次に賛成討論はありませんか。

この議案に賛成する立場で討論をさせていただきます。

出てきている補正予算の内容については、喫緊のものが数多く、大変困っているところをサポートするということにおいてはとても評価されるべき内容かと思えます。

それで、まだ9月のほうでの昨年度の決算も確定していないので、どれだけ新しい財源ができるかどうかというところも見込みながら、また企業に対してもこれから頑張っていかなければいけないところの支援っていうものも改めて考えていただくというところの要望を踏まえまして、賛成とさせていただきます。

議長
7番
三浦議員

ほかに討論はありませんか。

私はこの補正予算に反対の立場で討論をしたいと思えます。

先ほど浜田議員も言われましたけれども、修正案に賛成するつもりでいましたけれども、修正案が審議に載らなかったため反対をすることにいたしました。

私は以前にも紹介をいたしましたけれども、たとえ50円でも現金をもらうほうがうれしいと、そういう高齢者の方が町内にはおられます。

本当に、復興券ですと、復興券500円といいましても、500円をそのまま使えるわけはありません。そこには現金も必ず必要になってまいります。大変によさそうで、厳しい。

その一方で、やっぱり電気、ガス、水道などの公共料金を含めて、口座落としとかいうような状況になってまいります。口座にお金を入れていきたいというのが現実です。実際には1円でも足りなかったら督促が来るわけですので、やっぱり現金が欲しいというのは、厳しい皆さんには、生活の食品を買うとか、そういうものよりも口座の中に現金を入れておきたいという思いでいらっしゃる方は大勢いるというふうに私は認識しております。

こういうときだからこそ現金給付が必要ではないかというふうに考えておりますので、私は、ほかにも賛成したい内容はたくさんありましたけれども、やむを得ず反対ということにいたします。

議長 ほかにございせんか。

11番

吉川議員

今話を聞いていて、先ほどからもちょっと質問で出ておりますけど、やはり現金給付にした場合はシステムの修正にかなり時間がかかると御発言がございました、町から。

それと、やはり現金給付によって町内が潤うかどうかということが非常に分かりにくい。特に、買う店がない、そういうことによって現金がよそへ流れる——よそへ流れてもいいんですけど——だけど、やはり町を明るくするためにはそういうことが必要ということとで復興券。

それと、効果検証、やはり地方創生交付金ですから、やはりこれは効果検証を求められるわけでありまして、したがって、現金給付の場合は、効果検証につきましてはなかなか効果検証ができないんじゃないかというふうに私は考えまして、復興券に対しての賛成としたいと思います。

議長 ほかにございますか。

4番

坂本議員

私は、この議案の特に今言われている復興券のことで反対をいたします、ほかの補正予算に関しては賛成なんです。

これに関わる費用の250万円っていうのが商工会への委託料ということで、現金給付ということになればこの部分がなくなるという——全然ゼロというわけではないと思いますが減るということで、直接町の方たちの一人一人、特に高齢者世帯、独り暮らし、それから低所得の方たちは、商品を買うというより、実質的な問題としては電力、ガスに使える現金になるということで、直接の支援はそちらのほうが強力ではないかと思ひまして、反対といたします。

議長 ほかにございますか。

2番

坂井議員

賛成の立場で討論いたします。

先ほどの質疑では、委託料254万円余りは現金支給にするとなくなるということで、ただ、一方で申請作業と確認作業が必要で、結局これよりもお金がかかるんじゃないかというふうなことでしたので、ちょっとそれに対して疑問なしとはしないんですけども、ただ、現時点ではそういった可能性があるということで、それに関しては、今回はくらし復興券ということでやむを得ないというふうに考えております。

	本日は誠にありがとうございました。
	[下平町長降壇]
議 長	以上で令和5年第3回飯島町議会臨時会を閉会といたします。
	御苦労さまでした。
事務局長	御起立をお願いいたします。(一同起立) 礼。(一同礼「お疲れさまでした」)
閉 会	午後2時23分

上記の議事録は事務局長 林潤の記載したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

飯島町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員